

7

2025 年 7 月号
発行・浜田市ふるさと体験村
発行人・太田章彦
発行日・2025/7/1
電話・0855-48-3310
島根県浜田市弥栄町三里 257-4

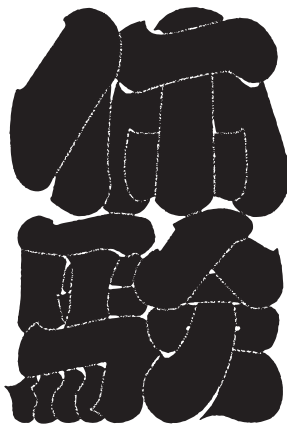


浜田市ふるさと体験村と
浜田市ふるさと体験村にまつわる
情報を伝えるために誕生した新聞です。
月に一度、弥栄町内だけに
発行しています。

新たなラインナップ

体験村が再開して3年目になりました。個人的には、いや客観的に見ても、再開という響きに相応しい新鮮さや新しさが足りてないな、と思っていました。そこで、いままでの体験村を築いてきた人たちと36年のその歴史に敬意を払っていることが伝わるように、かつ、新しい挑戦を可愛く表現したいと思い、「体験」という字をデザインナーに頼み、形にしました。

手始めにステッカー、トートバック、Tシャツを作りました。手前味噌ですが、これがめっちゃめっちゃ格好良くて、めっちゃめっちゃ可愛い。普段使ってもできる。ぜひみなさんに買って欲しい。そして身につけて、歩く広告塔になって欲しい。そうしたら、なんだか村全体がセンスが良さそうだな、そんな雰囲気を出せるんじゃないか。古くて新しい、そんな新しいラインナップが爆誕です。



スマホ教室のように

味里を利用してくださるお客様さんに、スマホの使い方を教えて欲しい、と言われる回数が増えていきます。地域のデジタル化を猛烈に推進したい私からすると、とっても嬉しい要望だったりします。

よくある質問が「LINEの使い方教えて欲しい」というもの。そんなの、私でよければなんぼでも教えますとも。この前はグループを作成して欲しい、友だちに追加して欲しいと頼まれ、対応させていたいただきました。もちろん受講料なんていたただきません。そばを食べていただけたらそれでオツケーです。

テクノロジーの進歩や登場がある度に学びが必要になりますが、これもある種の耐性のような気がしており、新しいことに触れることを継続していたら、いざれ抵抗が無くなつていったりするんじゃないかと思ったり…。

LINE、Google、Slack、Canva、SNS、Chat GPT など他にももっと色々ありますが、使えるようになると生活の中で便利だなと思う場面が増えますので、そばを食べたあとになんでもお気軽に質問してくださいませ。

ふるさと体験キャンプ

今年の夏休み。かつて、ふるさと体験村が子ども向けに実施していた「ふれあい学校」が「ふるさと体験キャンプ」に名前を変えて、復活します。川で遊んだり、みんなでご飯を作ったり、BBOをしたたり、花火をしたり、肝試しをしたり…。弥栄の大自然のなかで、新しい友だちと思い出ができる2泊3日を、お子さんにかがでしようか？

7月20日が応募締切です。定員18名、先着順です。お申込みは体験村のHPから。※大人のボランティアスタッフを大募集中です。

出張販売の輪

毎週木曜日の訪問販売の売上が、止まることなく上がり続けています。本当にありがたいです。感謝です。どこからともなく話が広がり、新しい人から注文が1個2個増え、その人が働いている事業所で注文してくれるようになっています。…といった具合に、伝播しています。

いろんな要望に少しずつ応えながら、改善を加えています。引き続き、どうぞよろしくお願いします。

クワガタの季節

クワガタが、6月の中旬ごろから姿を見せるようになりました。今のところ、ノコギリクワガタが圧倒的に多いのですが、ミヤマやヒラタもちらほらいます。ノコギリクワガタは大きいオスもいて、そうなるにつれの形が特徴的になり、例えるならばそれこそ水牛の形になり、それがとてもカッコいい。しかし今の子どもたちにこのカッコよさがわかるんだろうか。いや、これがかっこいいということなんだと、教えてあげなければならぬ。いやしかし、ノコギリクワガタだけでも熱く語れてしまうのに、ヒラタもいてミヤマもいて忙しい…！

体験村、クワガタがたくさんいるので（獲れるかは別）、遊びに来てくださーいね。そばを食べてくれたら、スポットと魅力を教えます。

それと、蛍もまだチラホラ飛んでいるので、蛍鑑賞もオススメですよ。

